

HP 公示用

「2016年1月1日時点で日本赤十字医療センター腎臓内科に通院されていた維持腹膜透析患者みなさまへ」

当院では、東京医科歯科大学と共同研究で、腹膜透析患者におけるサルコペニア・フレイルの臨床研究をしております。

当院通院中の腹膜透析の方を対象とし、内容は以下の通りです。

過去のデータを使用する形の研究であるため、この掲示によるお知らせをもって同意を戴いたものとして実施されます。皆様方におかれましては、研究の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

この研究に関するご質問がある場合、参加をご希望されない場合は下記の間合せ先へご連絡下さい。

○研究の概要について

研究題名: 高齢腹膜透析患者を対象とした

「フレイル・サルコペニアの生命予後及び寄与因子に関する観察研究」

観察期間: 2016年1月1日から2016年8月31日

実施責任者: 石橋 由孝

日本赤十字社医療センター腎臓内科 部長

○研究の意義・目的について

わが国をはじめ世界的に高齢化が進み、加齢に伴う様々な機能低下に対する対策が求められています。加齢に伴う筋力低下をサルコペニア、それに加えた活動量低下をフレイルといい、原因には様々な摂取不足からの低栄養や炎症、尿毒素物質の蓄積、活動量低下などが考えられています。

サルコペニア・フレイルは生活の質のみならず生命予後にも関連することが知られていますが特に腹膜透析患者さんでの報告は希少なため、今回我々は当院腹膜透析患者さんのデータを解析し、役立てたいと考えています。詳細な分析により、病態解明や新しい治療法の確立などの進歩につながる可能性があります。

○研究方法について

今回の研究は日本赤十字社医療センターが主体となり、東京医科歯科大学と当院が協力して解析施行します。2016年1月1日時点で当院腎臓内科通院中であった維持腹膜透析患者さんが対象となります。通常診療で行われた問診や病歴、検査(血液検査、画像検査など)結果を使用します。

検査結果は個人が特定されないよう匿名化し厳重に保管して東京医科歯科大学にて統計解析を行います。

○試料等の保管と他の研究への利用について

得られたデータは匿名化しデータベースとして保存させていただきます。貴重なデータであるため、後日必要に応じて他の研究に活用させていただく可能性があります。その際は、改めて掲示報告いたします。

○予測される結果(利益・不利益)について

利益：病態の解明や予防への対策が進歩し生命予後や生活の質の改善につながる社会貢献に繋がる可能性があります。

不利益: 特にありません。

○研究協力の任意性と撤回の自由について

この研究に協力されるかは、あなたの自由意思に基づいて決めていただきます。協力されなくてもあなたが不利益を受けることはありません。あなたがご自身の情報使用を希望しない場合は申し出て下さい。研究の途中でも、いつでも協力を撤回することができます。

○個人情報保護について

データ保存の際、また研究発表の際には、個人を直接同定できない形を取り、

皆様のプライバシーは遵守いたします。

○研究成果の公表について

この研究結果は、医学系の学会に発表もしくは学術論文として公表予定です。その際個人情報はいりません。

○費用について

今回の研究は過去の診療および検査結果を使用するため、新たに費用が生じることはありません。また、謝礼などはお渡ししておりません。

○問い合わせ等の連絡先:

日本赤十字社医療センター腎臓内科 石橋由孝